

台東区立台桜幼稚園 東京すくわくプログラム活動報告

2025 年3 月



活動のテーマと設定理由

① 伝統文化・音

本園の5歳児は、地域の方に獅子舞を教えていただき、獅子舞で流れる『お囃子』に興味をもっています。そこで、獅子舞をきっかけに、日本の伝統文化やそれらに関連する音をテーマにしました。



活動のテーマと設定理由

② 言葉・多文化理解

本園には、外国籍のお友達も在籍しています。
そこで、日本以外の文化や言葉に親しみを感じてほしいと
考え、本テーマを設定しました。



活動スケジュールと準備した道具など

① 伝統文化・音

- ・ 講師による獅子舞指導 年 8 回
- ・ 地域の祭りでの披露 10 月
- ・ 日本各地の獅子舞を探す

- ★和楽器（平太鼓、ちゃっば、あたりがね）の購入
- ★日本各地の獅子舞の様子を写真で掲示
- ★カセットデッキ（幼児が自分で操作するため）

① 言葉・多文化理解

- ・ 講師による指導 年 6 回
- ・ 保育参観での親子体験 1 月
- ★外国語でかかれた絵本や絵カード、地球儀、国旗
- ★外国語のCD（歌やダンス）
- ★講師や保護者から教えてもらったものを室内に掲示 など



①伝統文化・音の取り組み

（１）獅子舞披露

- 地域の方に教えていただいた獅子舞を、地域のお祭りの大きなステージで披露しました。

（２）オリジナル獅子頭作り

- 日本各地の獅子舞について調べ、色や表情などを自分で考えて作りました。

（３）手作り楽器から本物の和楽器

- 手作りの楽器を作りお囃子に合わせて演奏しました。
- しばらく楽しんでから本物の和太鼓、ちゃっばなどのお囃子で使う和楽器を用意すると、子供たちの興味はさらに大きくなりました。

獅子舞したく
なちゃった！

取り組みの様子

～ 5歳児が作った【伝説のししまい】～



～ 『日本音楽囃子文化研究所』の方をお招きして～

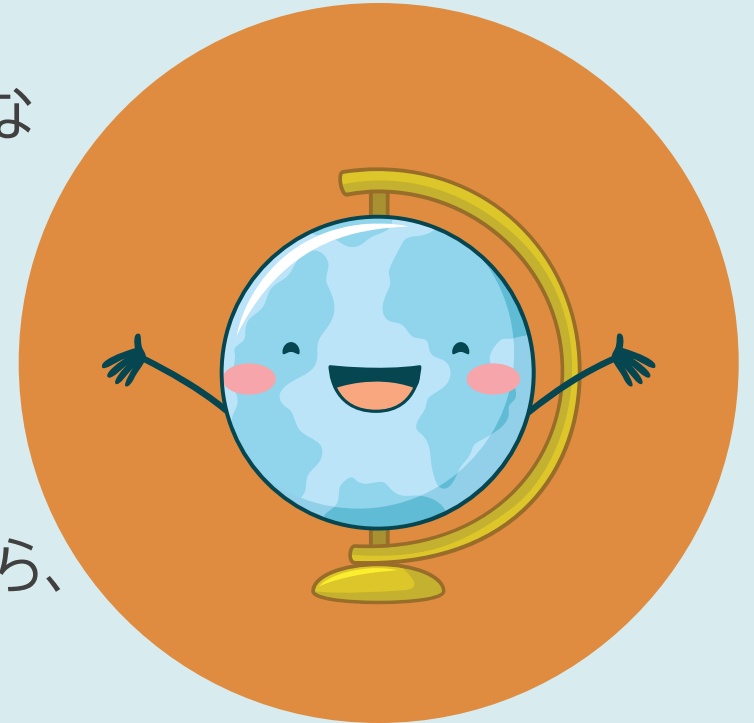
②言葉・多文化理解の取り組み

（１）講師による「英語で遊ぼう」

- 地域協力者の英会話講師より、国の名前、挨拶の言葉などを教えていただきました。
- 英語の歌に合わせたダンスや色や食べ物の名前を使ったゲームをしました。

（２）親子で一緒に外国語で遊ぶ

- 保育参観の時、すくわくプログラムの取り組みを紹介しながら、子供たちが楽しんでいたダンスやゲームを親子で楽しみました。
- 外国籍の保護者の方から、その方の国の言葉で挨拶や料理の名前を教えてもらいました。（フランス語、イタリア語）



②言葉・多文化理解の取り組み



（２）親子で一緒に外国語で遊ぶ

- 保育参観の時、すくわくプログラムの取り組みを紹介しながら、子供たちが楽しんでいたダンスやゲームを親子で楽しみました。
- 外国籍の保護者の方から、その方の国の言葉で挨拶や料理の名前を教えてもらいました。（フランス語、イタリア語）

取り組みの様子

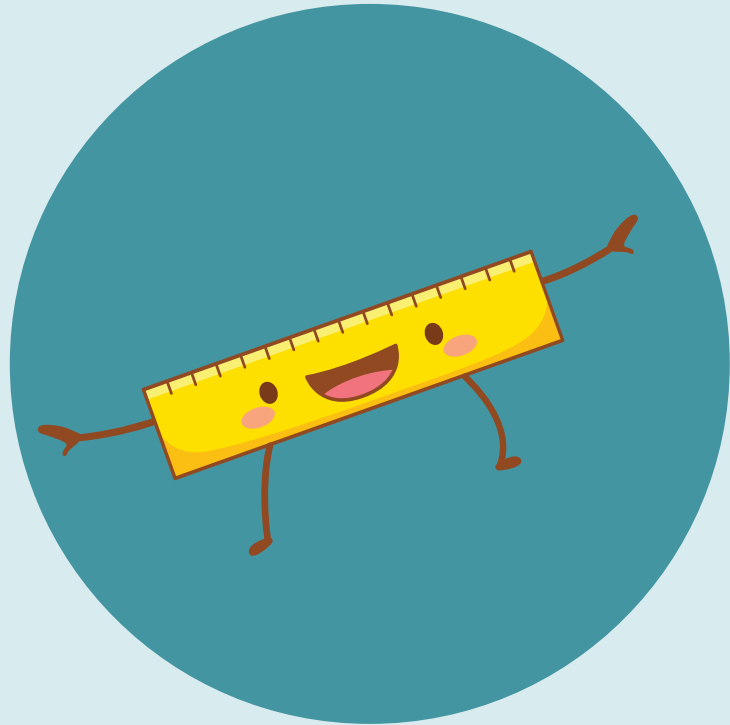
What color
do you like?
何色が好き？



どこの国の言葉での
挨拶をしようかな！



振り返り



【伝統文化・音】

- 地域の祭りで獅子舞を披露した後に獅子舞について調べる経験をしたことで、色を選び自分なりの表情を考えながら獅子頭を作ることを楽しめていた。
- 手作り楽器を楽しむ経験をしてから本物の和楽器を使ったことで、演奏する楽しさや音の違いに気づく姿が見られた。
- 『日本音楽囃子文化研究会』の方の演奏を聴くことで、心が躍り、獅子舞を演じたいという気持ちにつながっていた。
- 保護者の方には、獅子舞の取り組み（演じる、自分なりに工夫する、友達と取り組む）を見てもらうことで、成長を感じてもらうことができた。

振り返り

【言葉・多文化理解】

- 繰り返し指導を受けたことで、外国の言葉を発することに抵抗がなくなり、自分から言うことを楽しむ姿につながった。
- ダンスやゲームは、幼児がリラックスして取り組めた。ねらいや幼児に合わせた教材や内容を計画することが大切であることが分かった。
- 外国籍の幼児は、自分の親がみんなの前で話をすることで母国の文化や言葉に愛着を感じる機会になった。

